

彫刻の詳細な情報

	作品名	作者名	設置年度	設置場所	作者からのメッセージ
1	LOVE IN SKY	常松 大純	平成2年度	下馬中央公園 (下馬3丁目)	大らかさと優しさの中にも、空間に鋭く切り込んでいく、力強さのある愛を表現している。
2	風と少女'91	山本 正道	平成2年度	福井市美術館 (下馬3丁目)	少女と切り株、そして切り株に散り敷かれた落ち葉を表現。林のこもれ日の中にただずむ少女の姿に、優しさと愛情あふれる姿を表している。
3	詩人 —愛と生を見つめて—	綿引 道郎	平成3年度	福井市美術館 (下馬3丁目)	審美性、歴史性を持った城壁と永遠、そして市民の憩いの空間を考え制作。本は知識、知恵を象徴している。
4	LOCUS IN THE SKY'92	大隈 秀雄	平成3年度	御屋形再開発 地区内都市広場 (大手3丁目)	自然を愛する人々へ、地球からのメッセージ“風”との対話を空間に素描している。
5	my family	中岡 慎太郎	平成4年度	福井市美術館 (下馬3丁目)	人間愛の原点である家族に対する優しさを黒御影石の表面を筋彫りにすることで表現。
6	記念撮影 —風と—	峯田 敏郎	平成5年度	福井城址御本城 橋東植栽帯 (大手3丁目)	街中に静かにたたずむ少女の姿に、人間とさまざまな環境との好ましい「愛」の関係を表現している。
7	風の記憶	青野 正	平成6年度	フェニックス 通り東側 (大手3丁目)	歴史という時の波にさらわれた巨大な建造物の一部を表わしており、福井の歴史を振りかえりながら今日までの力強い発展を感じさせる。
8	WATER OF LIFE	関 正司	平成6年度	フェニックス 通り東側 (大手3丁目)	足羽川の河原の石を彫刻の体の一部に取り入れており、福井市にとって血の通った温かいシンボルとなることをイメージしている。
9	タベの花	津田 裕子	平成6年度	フェニックス 通り東側 (大手3丁目)	明日へと成長する福井の街の中で、薄暮に咲く美しいタベの花のように、人々に安らぎを与え続けてくれる。

	作品名	作者名	設置年度	設置場所	作者からのメッセージ
10	行列	三木 俊治	平成6年度	フェニックス 通り東側 (大手3丁目)	人類が輝かしい未来に向かって、行列になっている様子を表現。 朝に夕に四季折々に変化する彫刻の表情を通して、様々な捉え方ができる。
11	ひな	西村 文男	平成7年度	フェニックス 通り西側 (順化1丁目)	「ひな」とは“女の子”の意味。 赤花崗岩で作られた「ひな」は街に暖かな雰囲気を出しながら、街路樹とともに福井の街で成長していく。
12	波に乗って	田中 毅	平成7年度	フェニックス 通り西側 (順化1丁目)	亀は浜辺から大海原へと旅立ち、そして再び産卵のために戻ってくる。 彼らが安心して戻れるような、安らぎのある福井をイメージしている。
13	循環・メビウス	後藤 良二	平成7年度	フェニックス 通り西側 (順化1丁目)	環は大きな時の流れと考え、時とともに循環変ぼうするフェニックス通りの再生力のエネルギーにふさわしい形をイメージしている。
14	春	黒川 晃彦	平成9年度	シンボルロード 南側 (中央3丁目)	鑑賞する人が彫刻のとなりに腰かけて、作品が持つ「春」の気分を楽しんでもらう。
15	夏	黒川 晃彦	平成9年度	シンボルロード 北側 (順化1丁目)	夏を感じさせる作品が、街を行く人々を立ち止まらせる。 通い慣れた散歩道で、四季それぞれの小さな発見ができるよう意図している。
16	はじまりの形	伊東 知之	平成4年度	西公園 (花月1丁目)	憩いの原点である胎児をイメージしている。
17	母と子・この地に	池田 雅彦	平成5年度	和田公園 (御幸4丁目)	福井のおおらかな自然と風土 そして母と子の普遍的な強い絆を表わしている。

	作品名	作者名	設置年度	設置場所	作者からのメッセージ
18	森に風	山本 敏弘	平成6年度	山奥公園 (月見4丁目)	光と影の中であかびあがり、屹立する森としての実像、あるいは虚像を表現している。
19	ひととき	中村 セイ	平成7年度	西藤公園 (大宮5丁目)	古代土笛の音色から無限なる世界を想い、作品と語り合うひとときの中で、遠い昔より吹き来る、かすかな風を感じさせる。
20	TRIPLE SPIRAL	斎藤 路子	平成8年度	森田公園 (古市3丁目)	平和、調和そして協和の意味が込められている中央の3つのスパイラルが、人々に光と親しみを感じさせる。
21	5つの積層と 並列	前川 義春	平成9年度	ちぐさ公園 (北四ツ居 1丁目)	一人の人や、一つの街が重厚な存在感と確固たるアイデンティティーを持ち、静かに、そして豊かに成熟することをイメージしています。